



# OEM 版 Windows Server<sup>®</sup> 仮想化ライセンス ガイド

第 1 版 (2012 年 1 月)



<b>はじめに</b>	<b>3</b>
仮想化とは	3
<b>Windows Server のライセンスの考え方</b>	<b>4</b>
本ガイドで使用する用語について	4
Windows Server ライセンスの基本	5
Windows Server 2008 R2 のライセンスは、仮想インスタンスの実行権付きです	5
仮想インスタンスは、別のハードウェアに移動できます	5
ダウン グレードとは	
ダウン エディションとは	6
<b>[コラム]</b> ボリューム ライセンスの 90 日ルールとは?	6
<b>仮想化における OEM ライセンスの考え方</b>	<b>7</b>
OEM ライセンスの特徴	7
OEM ライセンスのメリット	7
OEM ライセンスも、仮想インスタンスは移動することができます	7
<b>仮想化環境で Windows Server を使用するには</b>	<b>8</b>
インストール メディアの準備	8
購入した製品のバージョンをそのまま使用する場合	8
Windows Server をダウン グレードして使用する場合	8
プロダクト キーの入手とアクティベーション	8
購入した製品のバージョンをそのまま使用する場合	8
Windows Server をダウン グレードして使用する場合	8
<b>[コラム]</b> P2V (Physical to Virtual) 機能を使用する際の注意点は?	9
<b>仮想化環境関連ツールのご紹介</b>	<b>10</b>
仮想化環境の一元的、かつ効率的な運用を実現する	
System Center Virtual Machine Manager 2008 R2	10
Microsoft® Assessment and Planning (MAP) Toolkit	10
<b>よく寄せられる質問</b>	<b>11</b>

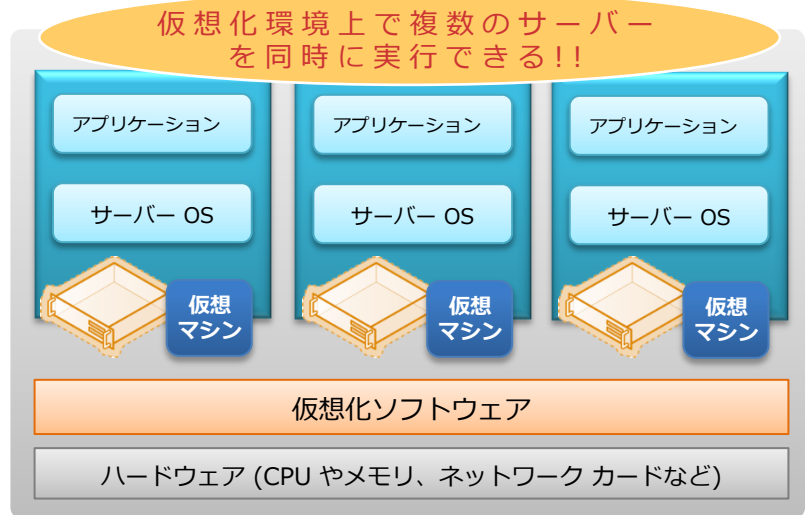
## 仮想化とは

仮想化は、1 台のハードウェア上で複数のサーバーを動作させる技術です。

たとえば、サーバーの仮想化では、仮想化ソフトウェアを使用することで、サーバー OS とアプリケーションを含んだ複数の仮想マシンを同時に実行することができます。

### 主な利用目的

- 既存アプリケーションの維持存続
- 設置スペースの削減と使用率の向上
- BCP (事業継続計画) 対策
- 消費電力の削減など



## 阪神高速道路株式会社 導入事例

24時間365日の運用と災害対策が求められる総合情報システムを仮想化環境に移行  
乱立したサーバを統合し消費電力を1/5に削減  
設置スペースを1/6に削減

「サーバ仮想化技術を活用し物理サーバを集約することによって、IT資産の洗い出し及び運用コストの可視化が可能となりました。その結果、システム管理、システム保守及びハードウェアコスト、消費電力の低減に成功。また、適正な運用コストを維持することにより新たに必要であるシステム開発にコストを分配することが可能となりました。」

株式会社 阪神高速  
導入日  
・2008年10月17日開始  
・設置スペース削減  
・消費電力削減

導入事例  
Windows Server 2008 R2

「サーバ仮想化技術を活用し物理サーバを集約することによって、IT資産の洗い出し及び運用コストの可視化が可能となりました。その結果、システム管理、システム保守及びハードウェアコスト、消費電力の低減に成功、また、適正な運用コストを維持することにより新たに必要であるシステム開発にコストを分配することが可能となりました」

— 阪神高速道路株式会社、情報システム部 情報企画課 課長代理、平野和利氏

導入事例ホームページ  
<http://dell.to/A564IN>

## 本ガイドで使用する用語について

本ガイドでは、Windows Server のライセンスを解説するために以下の用語を使用しています。

### ライセンスの権利



お客様は、ソフトウェアのライセンスを取得することで、当該ソフトウェアのインストールおよび使用権を得ることができます。お客様は、1 台のデバイスにそのライセンスを割り当てることで、ソフトウェアおよびその旧バージョンの任意の数の複製を、ライセンスを取得したデバイス上にインストールして使用することができます。

本書では、Windows Server のライセンスを指し、後述の「インスタンス」「インストールメディア」「プロダクトキー」とは分けて使用しています。

### インスタンス



インスタンスとは、ソフトウェアのセットアップまたはインストール手順を実行することにより作成されるソフトウェアのイメージをいいます。ソフトウェアのインスタンスは、既存のインスタンスを複製することによっても作成できます。

Windows Server が動作する OS 環境のことを「インスタンス」と呼び、物理サーバー上にある OS 環境を「物理インスタンス」、仮想化環境上にあるインスタンスのことを「仮想インスタンス」と呼びます。

### プロダクトキー



プロダクトキーは、Windows Server のインストール時に、製品のロックを解除するために使用される、数字と文字の一意の組み合わせです。インストールの際、プロダクトキーの入力を求められたときにプロダクトキーを入力しないと、プロダクトキーを入力するまで、製品をインストールすることはできません。

### インストールメディア



Windows Server 購入時に添付されていた Windows Server のイメージが収録された DVD/CD などのメディアです。お客様は、ライセンスを取得したソフトウェアのインストールメディアからインストールする際に使用します。

## Windows Server ライセンスの基本

### Windows Server 2008 R2 のライセンスは、仮想インスタンスの実行権付きです

Windows Server 2008 R2 では、サーバー ライセンスで許可された上限数まで、仮想インスタンスを無償で実行することができます。

注: Windows Server の仮想インスタンスにアクセスするデバイス、またはユーザーごとに、適切なバージョンの Windows Server CAL (クライアント アクセス ライセンス) が必要です。

#### Windows Server 2008 R2 の仮想インスタンス実行権 (1 ライセンスあたり) \*1

エディション	物理 インスタンス数	仮想 インスタンス数
Windows Server 2008 R2 Datacenter*2	1	無制限
Windows Server 2008 R2 Enterprise	1	4
Windows Server 2008 R2 Standard	1	1
Windows Server 2008 R2 for Itanium-based Systems*3	1	無制限
Windows Web Server 2008 R2	物理インスタンス、または 仮想インスタンスのどちらか 1 つ	

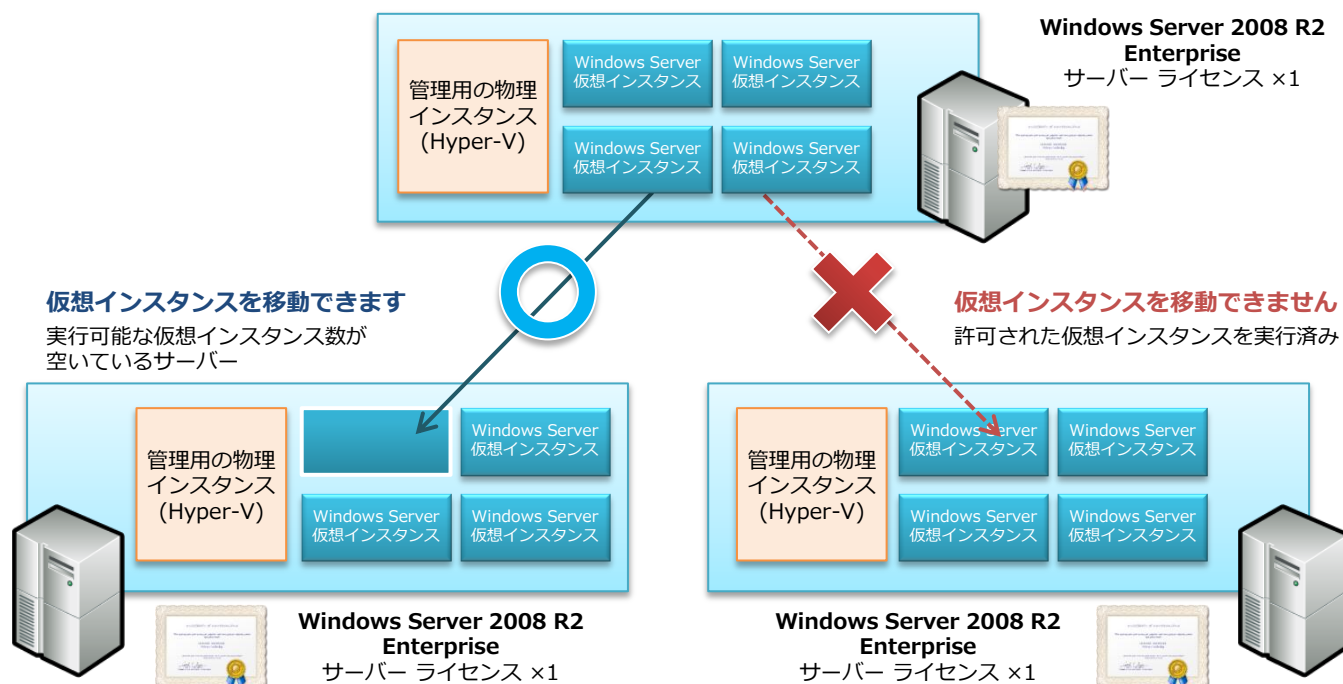
\*1 VMware や Xen などのサードパーティ製仮想化テクノロジーを使用し、物理インスタンスとして Windows Server 2008 R2 を利用しない場合でも、同時に実行できる仮想インスタンス数は変わりません。

\*2 Datacenter のライセンスは物理プロセッサ単位で提供します。2 プロセッサ以上からご購入いただけます。

\*3 対応するサードパーティ製の仮想化テクノロジーが必要です。

### 仮想インスタンスは、別のハードウェアに移動できます

Windows Server の仮想インスタンスは、同じお客様が所有される、適切なサーバー ライセンスが割り当てられた物理サーバー間で移動することができます。移動先が既に仮想インスタンスの最大数を実行済みの場合は、ライセンスを追加購入、あるいは同時実行数を減らす必要があります。





## ダウン グレードとは

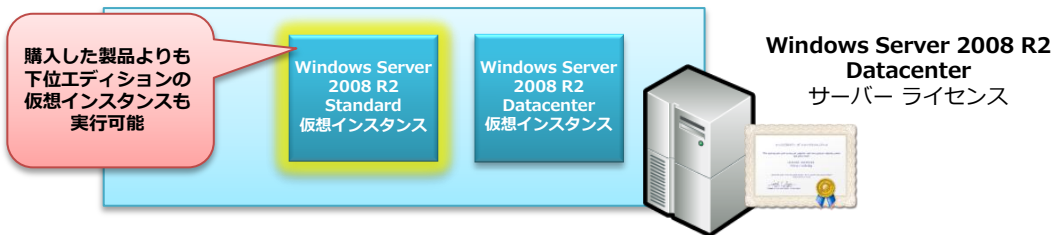
Windows Server 2008 R2 のライセンスには、ダウン グレードの権利が付いています。Windows Server 2008 R2 の代わりに、以前のバージョン (ダウン グレード) を仮想インスタンスとして実行できます。ダウン グレード権を行使して以前のバージョンの OS をお使いになる場合、マイクロソフトによる製品サポート提供期間もご確認いただくことをお勧めいたします。詳しい情報は、次の Windows Server 製品サポートライフサイクル Web サイトをご覧ください。 <http://support.microsoft.com/lifecycle/?C2=1163>



## ダウン エディションとは

Windows Server 2008 R2 のライセンスには、ダウン エディションの権利も付いています。Windows Server 2008 R2 の代わりに、購入製品よりも下位のエディション (ダウン エディション) を仮想インスタンスとして実行できます。

たとえば、Windows Server 2008 R2 Datacenter のライセンスを購入した場合、下位エディションである Enterprise や Standardなどを Datacenter の代わりに実行することが可能です。



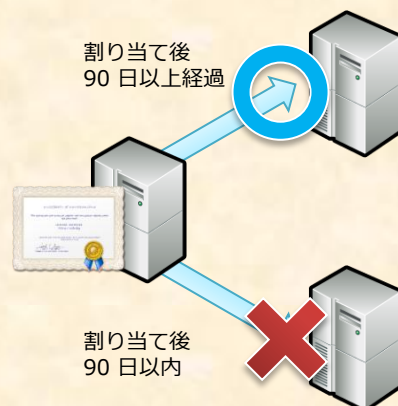
## ボリューム ライセンスの 90 日ルールとは?

ボリューム ライセンスで Windows Server を購入した場合、特定のハードウェアに割り当てたサーバーライセンスを他のハードウェアに移動し、移動先のハードウェアの追加ライセンスとして使用することができます。ただし、移動元のハードウェアにライセンスを割り当ててから 90 日以内は移動することはできません\*。

\* 恒久的なハードウェアの故障の場合は、90 日以内であっても別の物理サーバーにライセンスを再度割り当てることができます。  
\* OEM ライセンスの場合は 90 日以降でもライセンスを移行することはできません。

つまり、ライセンスは短期間で再割り当てができません!

高可用性などの目的で  
インスタンスを移動する  
可能性があるハードウェアには、  
それぞれライセンスを  
用意しましょう!!

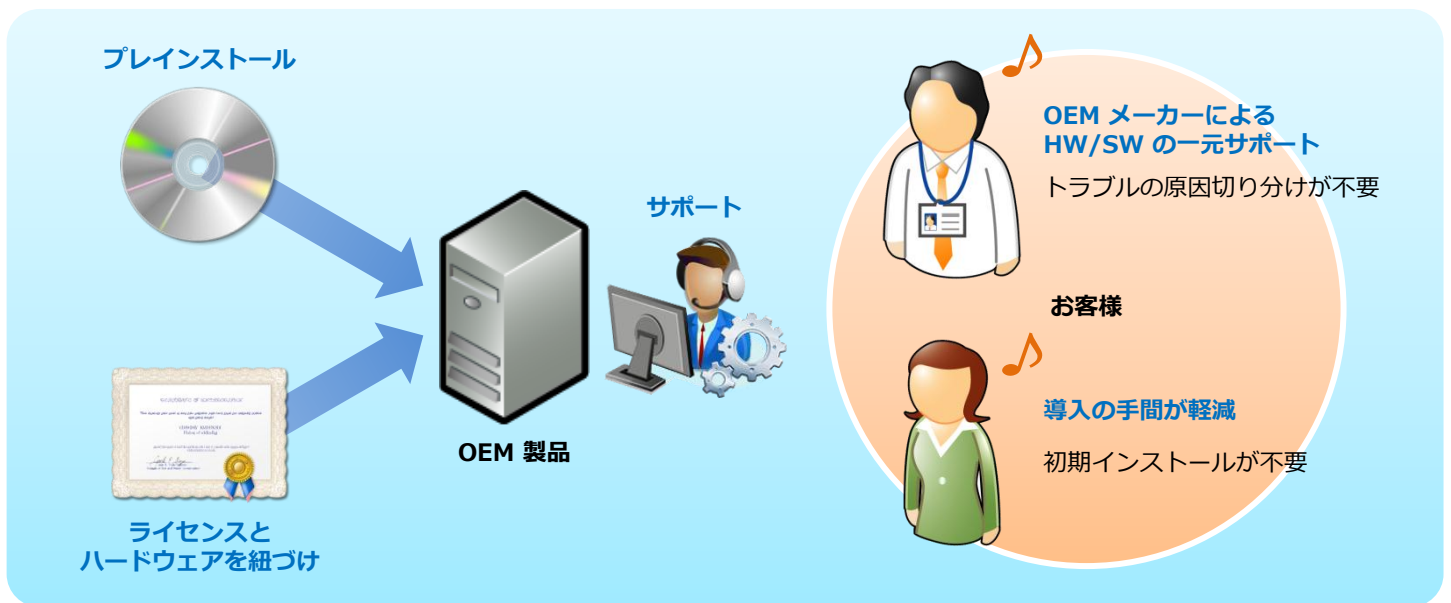


# 仮想化における OEM ライセンスの考え方

## OEM ライセンスの特徴

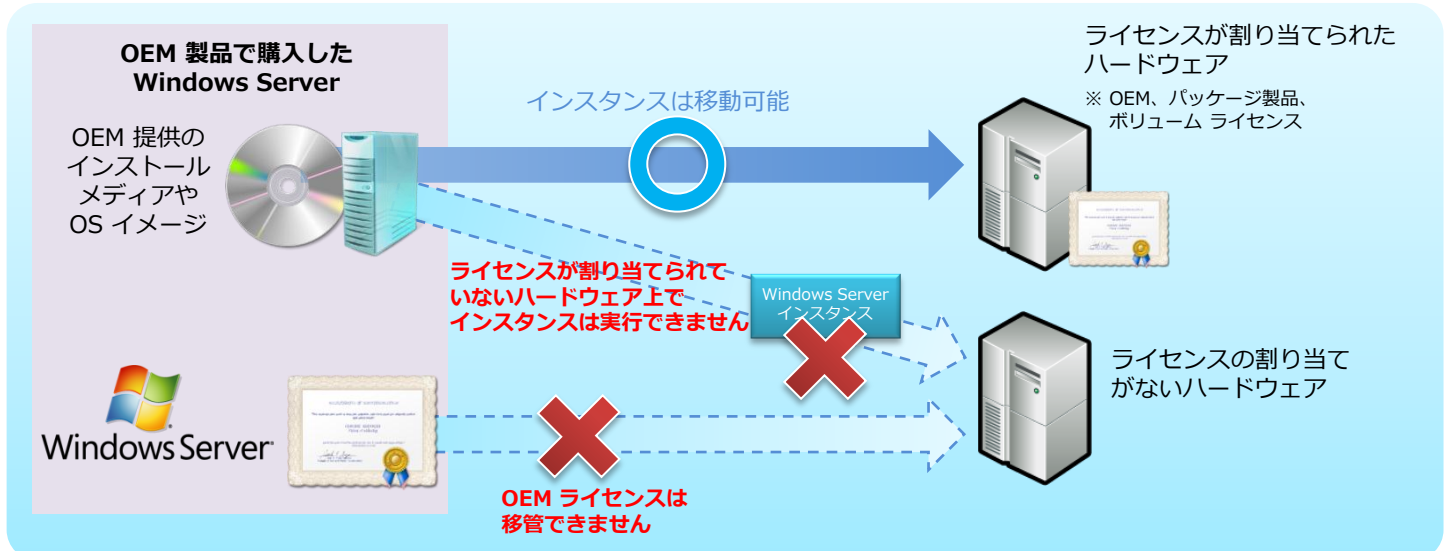
### OEM ライセンスのメリット

OEM ライセンスは、ハードウェアと合わせて提供されるライセンスです。ソフトウェアがインストールされた製品として出荷されることも多く、お客様にとっては、手配の容易さに加え、Windows Server 2008 R2 をインストールする手間を簡略化し、購入後すぐに利用を開始できるメリットがあります。また、OEM 製品の場合、OEM メーカーによりハードウェア (HW) とソフトウェア (SW) 両方のサポートが提供されるので、お客様に安心してサーバーをお使い頂くことができます。



### OEM ライセンスも、仮想インスタンスは移動することができます

OEM ライセンスで稼働している Windows Server インスタンスも、お客様が Windows Server のライセンスをお持ちのハードウェアに対して移動することは可能です。この場合、移動先のライセンスは、OEM 版、パッケージ版、ボリューム ライセンスのいずれでも構いません。OEM ライセンスは、購入したハードウェアに限り使用が許可されますので、ライセンスそのものを、別のハードウェアに移管することはできません。新しいハードウェア上で、これまで使われていた Windows Server 環境を再構築する際など、OEM 版のインストールメディアを再度利用することも可能です。ただし、メーカー提供のユーティリティ ソフトウェアなど、他ハードウェアでの利用が許諾されていない場合もございますので、提供元にご確認されることをお勧めいたします。



# 仮想化環境で Windows Server を使用するには

## インストール メディアの準備

### 購入した製品のバージョンをそのまま使用する場合

OEM 製品に添付されているインストール メディア、またはイメージを使用してインストールします。

### Windows Server をダウン グレードして使用する場合

旧バージョンのインストール メディア、またはイメージを入手してインストールします。

以前に購入した製品の  
インストール メディア  
を持っている

お手持ちのメディアで  
インストール

メディアの入手経路は

- ボリューム ライセンス
- パッケージ製品
- OEM 製品のいずれでも OK

インストール メディアを  
持っていない

メディア オーダー サイトで  
メディアとプロダクト キーを発注

マイクロソフト メディア オーダー サイト

➤ <http://www.microsoft.com/japan/windowsserver2008/downgrade-tc.mspcx>

ご注意: 2011 年 12 月現在、Windows Server 2003 R2/2008 /2008 R2 のメディアを提供しております。

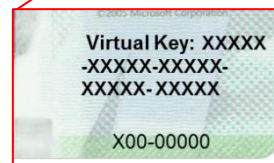
## プロダクト キーの入手とアクティベーション

### 購入した製品のバージョンをそのまま使用する場合

OEM 製品に添付されている Certificate of Authenticity (COA) ラベルに記載されている Virtual Key (仮想環境用のプロダクト キー) を入力し、アクティベーションを行います。

### Windows Server をダウン グレードして使用する場合

OEM 製品に添付されている Certificate of Authenticity (COA) ラベルに記載されている Virtual Key (仮想環境用のプロダクト キー) を入力し、アクティベーションを行います。(Windows Server 2008 の場合です。それ以前のバージョンに関しては、以下の項目を参照ください。)



以前に購入した製品の  
プロダクト キーを  
持っている

お手持ちのプロダクト キーを  
入力して、アクティベーション

プロダクト キーの入手経路は

- ボリューム ライセンス
- パッケージ製品
- OEM 製品のいずれでも OK

プロダクト キーを  
持っていない

メディア オーダー サイトで  
メディアとプロダクト キーを発注

マイクロソフト メディア オーダー サイト

➤ <http://www.microsoft.com/japan/windowsserver2008/downgrade-tc.mspcx>

ご注意: 認証できない場合は、ライセンス認証センターに電話でご相談ください。  
電話番号: 0120-801-734 (年中無休・24 時間)





## P2V (Physical to Virtual) 機能を使用する際の注意点は？

System Center Virtual Machine Manager では、物理サーバーを仮想マシンに変換できる P2V (Physical to Virtual) 機能を利用することができます。

P2V 機能を使用すれば、既存の Windows Server インスタンスを別のハードウェア上の仮想化環境に移動することができます。

### P2V 変換による、物理サーバーの移行ステップ

OEM ライセンスは、他のサーバーにライセンスを移動することはできません。このため、移動先のハードウェア用に別途 Windows Server のライセンスを購入してください。

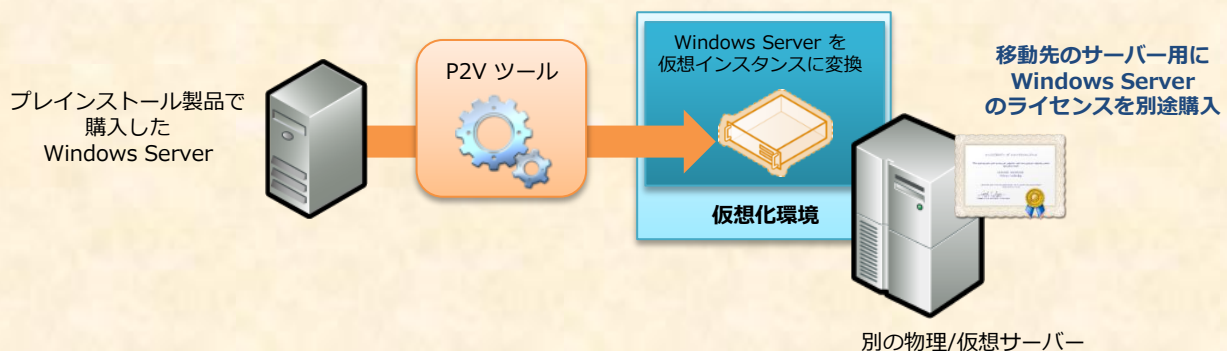
- ① Windows Server 2008 R2 物理サーバーを新規導入し、Hyper-V の役割を追加します。
- ② System Center Virtual Machine Manager の P2V 変換ウィザードを利用して、既存の物理サーバーを仮想マシンに変換し、Hyper-V 上に配置します。
- ③ P2V 変換後、変換元の物理サーバーを廃止 (または別の用途に再利用) します。

### プレインストール製品を移動する場合

OEM ライセンス/ボリューム ライセンス/パッケージ製品など、ライセンスの種類を問わず、移動先のサーバーに Windows Server がライセンスされている場合は、OEM ライセンスの Windows Server インスタンスを移動することは可能です。

P2V によるインスタンスの移動後、アクティベーションを求められる場合は、移動元のサーバーに添付されている COA ラベル記載のプロダクト キーを入力してください。

なお、OEM メーカー提供のユーティリティ ソフトウェアなど、他ハードウェアでの利用が許諾されていない場合もございますので、提供元にご確認されることをお勧めいたします。



### ボリューム ライセンスやパッケージ製品を移動する場合

これまで使われていたハードウェアで Windows Server を利用されない場合は、ライセンスを新しいサーバーに再割り当てすることができます。ハードウェア環境が変わることで、Windows Server の再認証が必要になることがあります。物理サーバーで使用していた Windows Server のプロダクト キーを入力してください。

認証できない場合は、ライセンス認証センターに電話でご相談ください。

電話番号: 0120-801-734 (年中無休・24 時間)

## 仮想化環境の一元的、かつ効率的な運用を実現する System Center Virtual Machine Manager 2008 R2

Virtual Machine Manager 2008 R2 は、Hyper-V 2.0、Hyper-V 1.0、Virtual Server 2005 R2、および VMware ESX/ESXi で構築された仮想化環境を単一のコンソールから統合的に管理できる仮想化管理ソリューションです。

詳細情報は製品サイトをご覧ください。

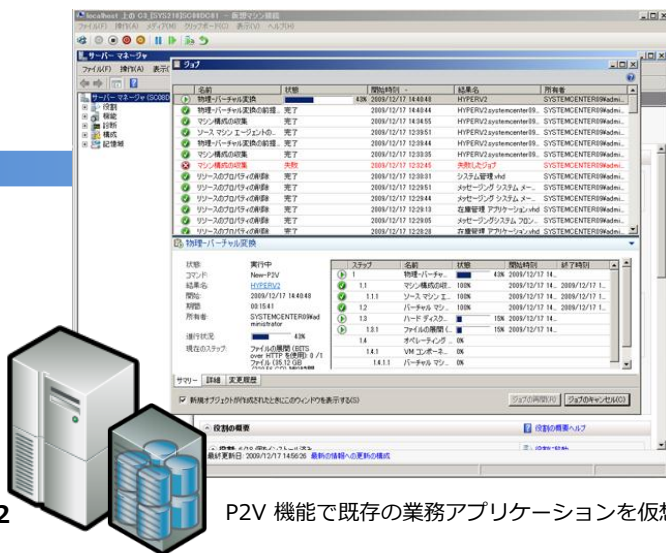
<http://www.microsoft.com/japan/systemcenter/scvmm/>

### Virtual Machine Manager 2008 R2 の機能と特長

- テンプレートの活用で新しい仮想マシンのプロビジョニングを効率化
- 仮想化環境の柔軟性を高める Live Migration をサポート
- P2V および V2V 機能で仮想マシンの作成を簡略化
- 最適な物理ホストへのインテリジェントな配置

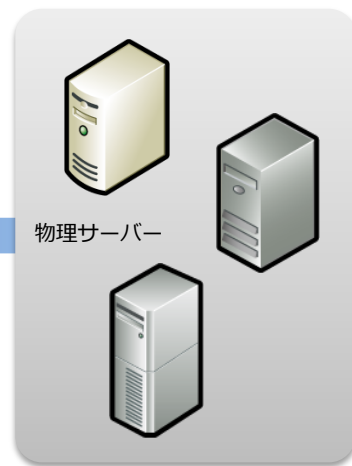


仮想化環境の物理ホスト



Virtual Machine Manager 2008 R2

P2V 機能で既存の業務アプリケーションを仮想化環境に移行



物理サーバー

## Microsoft Assessment and Planning (MAP) Toolkit

Microsoft Assessment and Planning (MAP) Toolkit\* は、ソフトウェア エージェントを使用することなく、さまざまなプラットフォームの移行や仮想化について IT 環境を安全に評価できる、インベントリ、評価、報告を行うための強力なツールです。サーバー仮想化のシナリオにおいては、稼働率の低いリソースの把握、および Hyper-V を使ったサーバー統合に必要なハードウェア仕様の特定に利用できます。

詳細情報は次の URL をご覧ください。

<http://technet.microsoft.com/ja-jp/solutionaccelerators/dd537566>

\*本 Toolkit は英語版のみの提供となります。

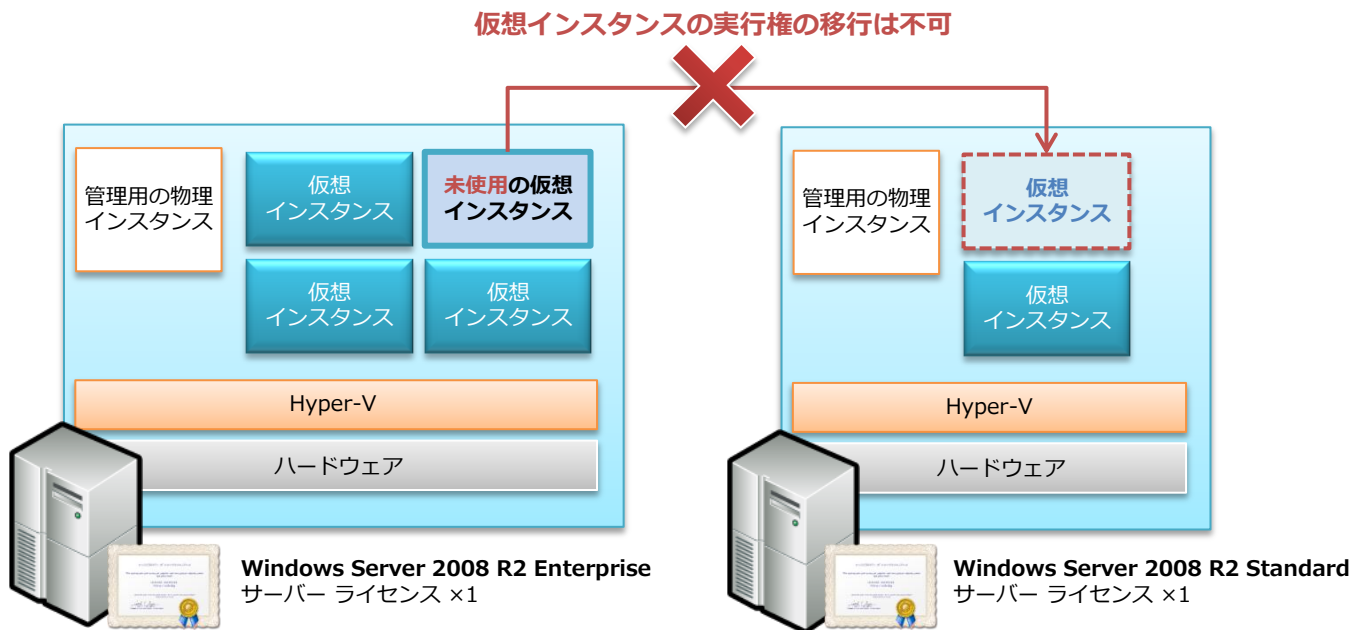
### 主なレポート内容

- 現在インストールされている Windows Server オペレーティング システムとハードウェアの特定および Windows Server 2008 R2 への移行に関する推奨事項
- Performance Metrics Wizard で収集したサーバーの使用率に関する詳細な評価と報告
- Hyper-V を使用したサーバーの統合と仮想マシンの配置に関する推奨事項
- 仮想マシン、そのホスト、および各マシンとホストについての詳細の特定



Q. Windows Server 2008 R2 Standard と Windows Server 2008 R2 Enterprise のライセンスを 1 つずつ取得しています。Windows Server 2008 R2 Enterprise のライセンスを割り当てた物理サーバーは、3 つの仮想インスタンスを実行しています。このような場合、使用していない Windows Server 2008 R2 Enterprise の仮想インスタンスの実行権 1 つを Standard に移行することはできますか？

A. いいえ、仮想インスタンスの実行権を他のサーバーに移行することはできません。



Q. サードパーティ製ハイパーバイザー型仮想化ソフトウェア上で Windows Server を実行したいのですが、この場合、Windows Server のライセンスは必要ですか？ また、エディションごとの仮想インスタンス実行権はどうなりますか？

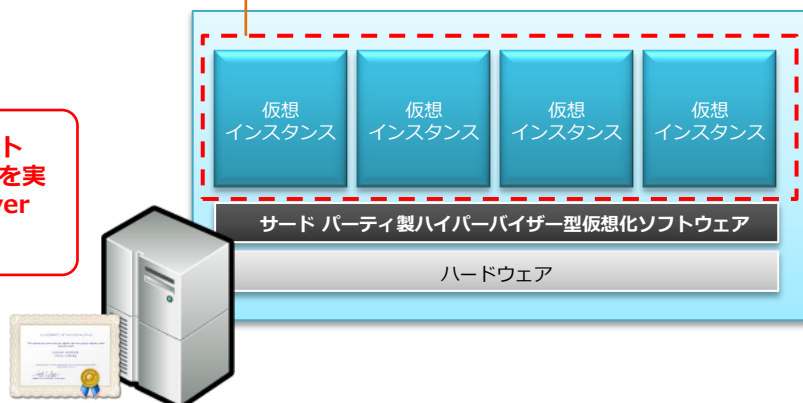
A. 仮想化ソフトウェアの種類に係らず、Windows Server を実行するためには、そのハードウェアに Windows Server のライセンスが必要です。また、Windows Server ライセンスの仮想化インスタンス実行権は、仮想化ソフトウェアの種類には依存しませんので、たとえば Windows Server 2008 R2 Datacenter の場合には、そのハードウェア上で無制限の仮想インスタンス (Enterprise エディションの場合は 4 つまで) を実行できることになります。

1 ライセンスで実行できるインスタンス数は Hyper-V 使用時と同じです。

例

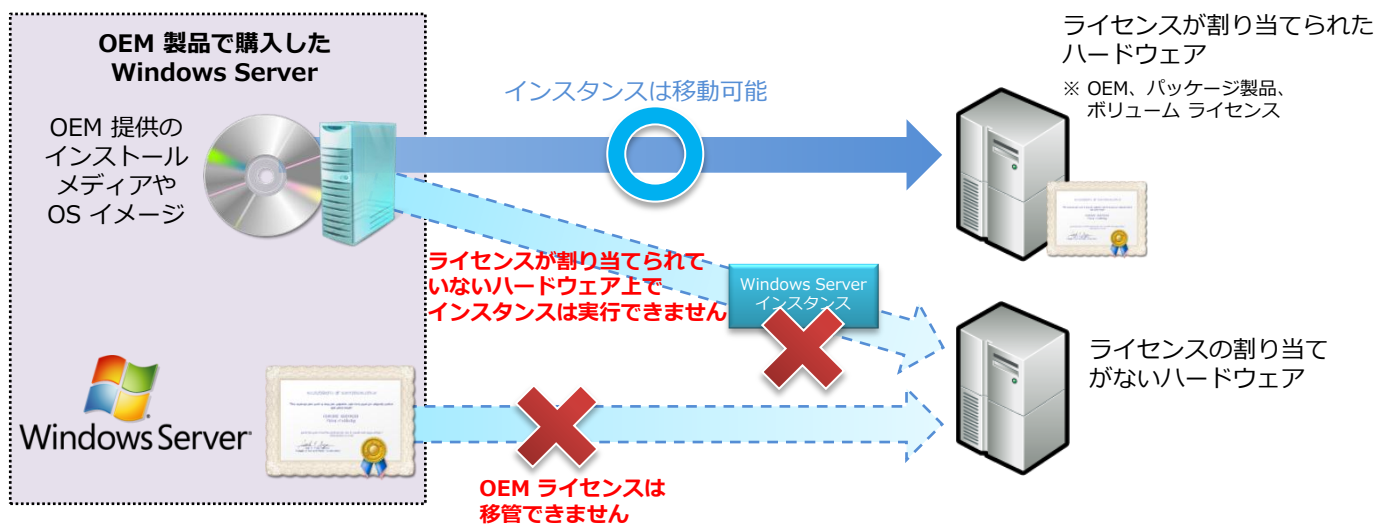
- Windows Server 2008 R2 Datacenter : 無制限
- Windows Server 2008 R2 Enterprise : 4 つ

サードパーティ製の仮想化ソフトウェア上で Windows Server を実行する場合も、Windows Server のライセンスが必要です。



**Q.** これまで利用していた数台のサーバーを、新しいサーバーに統合したのですが、Windows Server のライセンスはどうなりますか？

**A.** 移動元のサーバーのライセンスが OEM ライセンスの場合、新しいサーバーにライセンスを移管することはできません。このため、新たなハードウェアの購入と合わせて、Windows Server のライセンスを購入ください。移動元のサーバーのライセンスがボリューム ライセンスの場合、古いサーバーを今後使用しない場合、新しいサーバーにライセンスを移管することができます。ただし、アップグレード権は付与されません。たとえば、Windows Server 2003 R2 のライセンスをお持ちの場合、Windows Server 2008 R2 を利用することはできません。



**Q.** 仮想化環境で複数の Windows Server を実行しています。その際に入力するプロダクト キーは、1 つ 1 つ違うものを入力する必要がありますか？

**A.** いいえ、ハードウェア上で複数のインスタンスを実行するライセンスをお持ちの場合、お手持ちのプロダクト キー (Windows Server 2008 以降の場合は Virtual Key) を使って、複数の Windows Server の仮想インスタンスを認証できます。正規のプロダクト キーを使用しても仮想化環境を認証できない場合、ライセンス認証窓口へお問い合わせください。

電話番号: 0120-801-734 (年中無休・24 時間)

**Q.** 「ダウン エディション権」と「ダウン グレード権」を組み合わせる利用できますか？

**A.** はい、「ダウン グレード権」と「ダウン エディション権」を組み合わせる利用できます。たとえば、Windows Server 2008 R2 Datacenter のライセンスが割り当てられたサーバー上で、Windows Server 2008 の Enterprise や Standard を実行することができます。

Windows Server 2008 R2 Datacenter と Enterprise のライセンスで利用できるバージョンとエディションについては、P6「ダウン グレード、ダウン エディションとは」をご覧ください。



**Q. OEM 版の Windows Server 2008 R2 が搭載されたサーバーを購入しました。仮想化環境上で Windows Server 2003 R2 や Windows Server 2008 を実行できますか？**

**A.** ライセンスの購入経路 (OEM、パッケージ製品、ボリューム ライセンス) に関係なく、Windows Server のライセンスには「ダウン グレード権」が付与されていますので、Windows Server 2008 R2 のライセンスが割り当てられているハードウェアにおいて物理環境と仮想化環境を問わず、Windows Server 2008 や Windows Server 2003 R2 を実行いただけます。

**Q. OEM 製品で購入したサーバーにおいて、ダウン グレード権を使って旧バージョンの Windows Server を実行する場合、インストール用のメディアはどうすればよいですか？**

**A.** 以前に購入したメディアをお持ちの場合は、お手持ちのメディアで Windows Server をインストールできます\*。メディアをお持ちでない場合は、マイクロソフト メディア オーダー サイトで、メディアをご注文いただけます。ご注文時には、購入された Windows Server 2008 R2 のライセンス情報が必要になります。

詳細は、<http://www.microsoft.com/japan/windowsserver2008/downgrade-tc.msp> をご参照ください

\* OEM 製品で提供されたメディアを使用する場合、OEM から提供されたユーティリティ ソフトなどは使用できないことがありますのでご注意ください。

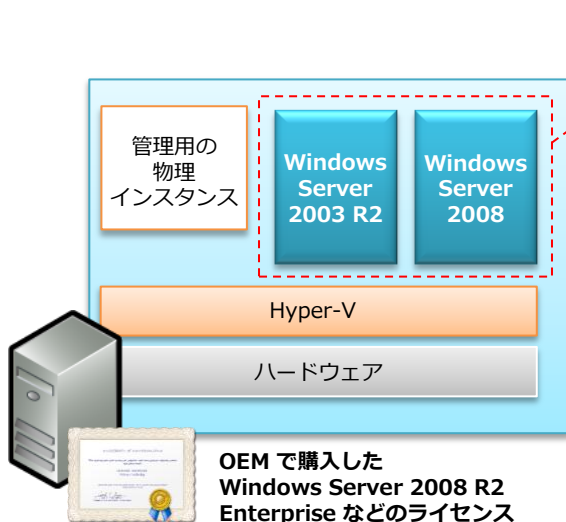
**Q. ダウン グレード権を使用して、旧バージョンの Windows Server をインストールしたら、プロダクト キーの入力を求められました。どうすればよいですか？**

**A.** 以前に購入した製品のプロダクト キーをお持ちの場合は、お手持ちのプロダクト キーを入力してください。プロダクト キーをお持ちでない場合は、マイクロソフト メディア オーダー サイトからメディアと合わせてご注文いただけます。

詳細は、<http://www.microsoft.com/japan/windowsserver2008/downgrade-tc.msp> をご参照ください

正規のプロダクト キーを使用しても仮想化環境を認証できない場合、ライセンス認証窓口へお問い合わせください。

電話番号: 0120-801-734 (年中無休・24 時間)



ダウン グレード権により、旧バージョンを実行可能

**旧バージョンのインストールとプロダクト キーについて**



**以前に購入したメディアやプロダクト キーをお持ちの場合**

お手持ちのメディアとプロダクト キーでインストール、アクティベーションを行います。

※仮想化環境を認証できない場合、ライセンス認証窓口へお問い合わせください。



**以前に購入したメディアやプロダクト キーをお持ちでない場合**

マイクロソフト メディア オーダー サイトでインストールメディアとプロダクト キーをご注文ください。

<http://www.microsoft.com/japan/windowsserver2008/downgrade-tc.msp>

**Q.** 既存の OEM 版 Windows Server のインスタンスを P2V を使って新しいハードウェアに移動することはできますか？

**A.** OEM 版の Windows Server ライセンスは、ハードウェアに紐づけられているので、新しいハードウェアにライセンスを移管することはできません。ライセンスの購入経路 (OEM、パッケージ製品、ボリューム ライセンス) に関係なく、新しいハードウェアにも Windows Server のライセンスが割り当てられていれば、インスタンスを移管することができます。なお、仮想インスタンスに移動した場合、OEM から提供されたユーティリティ ソフトなどは使用できないことがありますのでご注意ください。  
詳しくは P9 のコラム「P2V (Physical to Virtual) 機能を使用する際の注意点は？」をご参照ください。

**Q.** 既存の OEM 版 Windows Server のインスタンスを P2V を使って新しいハードウェアに移動した際に、プロダクト キーの入力が求められた場合はどうすればよいですか？

**A.** P2V でインスタンスを移動する場合、既に Windows Server の正規ライセンスをお持ちのはずですので、購入時に添付されていたプロダクト キーを入力してください。正規のプロダクト キーを使用しても仮想化環境を認証できない場合、ライセンス認証窓口へお問い合わせください。

電話番号: **0120-801-734** (年中無休・24 時間)

詳しくは P9 のコラム「P2V (Physical to Virtual) 機能を使用する際の注意点は？」をご参照ください。

**Q.** OEM ライセンスは、ハードウェアに紐づいていると聞きますが、Live Migration や vMotion などのような複数のハードウェアで可用性を高める機能には向いていませんか？

**A.** いいえ。OEM ライセンスは、ハードウェアに紐づいていますが、移動する可能性があるハードウェアにも Windows Server のライセンスが割り当てられていれば、OEM 版の Windows Server であってもライセンス上の問題はありませぬ。OEM ライセンスは、別のハードウェアに移管することができませんが、正しくライセンス (OEM、パッケージ製品、ボリューム ライセンス) が割り当てられているハードウェア間でインスタンスを移動することができます。

詳しくは、P6「ボリューム ライセンスの 90 日ルールとは？」をご覧ください。

**Q.** Windows Server 2008 R2 Datacenter が搭載されたサーバーを購入しました。仮想化環境で無制限に Windows Server のインスタンスを実行できると聞きましたが、実行は Datacenter エディションに限定されますか？

**A.** いいえ、Windows Server には「ダウン エディション権」が付与されています。Datacenter エディションをお持ちのお客様は、Enterprise や Standard などの下位エディションを実行することができます。

Windows Server 2008 R2 Datacenter

↓  
ダウン エディションで実行可能エディション

- Windows Server 2008 R2 Enterprise
- Windows Server 2008 R2 Standard

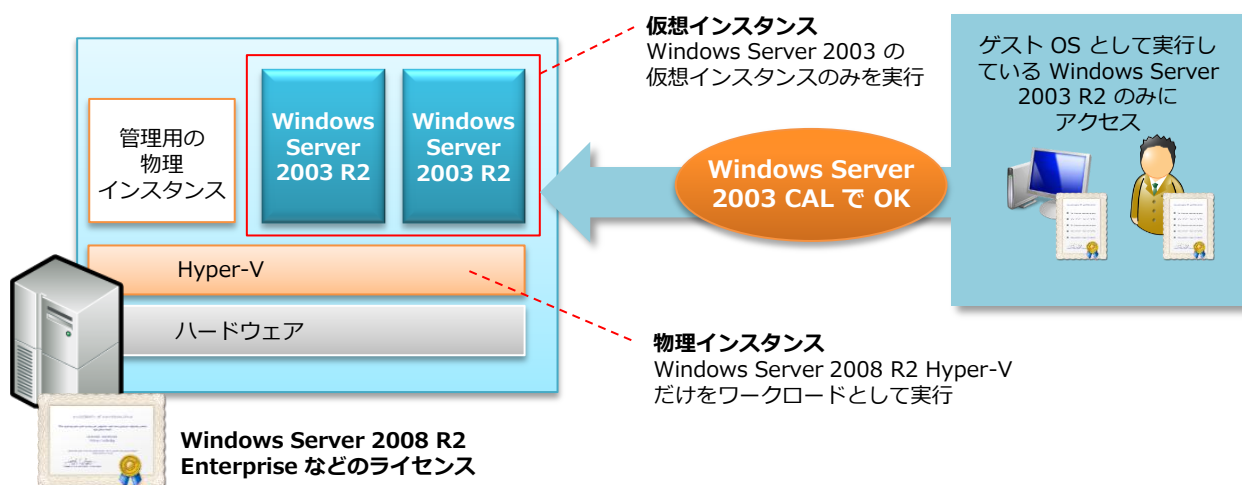
Windows Server 2008 R2 Enterprise

↓  
ダウン エディションで実行可能エディション

- Windows Server 2008 R2 Standard

**Q.** Windows Server 2008 R2 の Hyper-V で仮想化環境を構築し、仮想インスタンスとして Windows Server 2003 R2 のみを実行しています。この場合、Windows Server 2008 CAL が必要ですか？

**A.** Windows Server 2008 R2 を仮想化環境のホスト OS としてのみ利用し、Windows Server 2003 R2 以前のサーバー OS をゲスト OS として使用する場合、Windows Server 2008 CAL を購入する必要はありません。ただし、ホスト OS の Windows Server 2008 R2 で Hyper-V 以外のワークロードを使用している場合や、ゲスト OS で Windows Server 2008 または Windows Server 2008 R2 を使用する場合は、Windows Server 2008 CAL を購入いただく必要があります。



●DELLロゴは、米国Dell Inc.の商標または登録商標です。●Microsoft、Active Directory、Hyper-V、SQL Server、Windows、Windows Server、Windows Vista は米国 Microsoft Corporation および、またはその関連会社の商標です。●その他の社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。●本カタログに使用されている製品写真は、出荷時のものと一部異なる場合があります。●構成や仕様により、提供に制限がある場合があります。詳細は弊社営業にお問い合わせください。●システム構成により、提供に制限がある場合もございます。●本書は情報提供のみを目的としており、本書の内容について、デル株式会社は、明示的あるいは非明示的でない保証もいたしません。●本書に記載した情報は、将来予告なしに変更されることがあります。●本書を使用する場合のリスクまたは本書の使用による結果について、デル株式会社はいかなる責務も負うものではありません。●本書に記載されている会社、組織、製品、人物、イベントの例は架空のもので、実在の会社、組織、製品、人物、またはイベントとの関連を示唆するものではありません。●適用する著作権法のすべてにお客様は準拠いただく必要があります。●著作権上の権利に限定されることなく、本書の一部または全部を無断で使用、複製することはできません。

●本書の内容は、2012年1月現在のものであり、予告なく変更される場合があります。最新の内容については、弊社営業またはホームページにてご確認ください。